

レーザー外来について

形成外科ではQスイッチルビーレーザーを用いて、いわゆる「シミ・アザ」の治療も行っております。



Qスイッチルビーレーザーって何？

ルビーを媒質としてレーザービームを作り、皮膚の浅いところに存在するメラニン色素に選択的に照射し、熱エネルギーを発生させてこれを破壊し吸収を促します。熱エネルギーにより周囲の皮膚が少しヤケドしますが、きずあとにはならないとされています（ファンデーションなどの化粧品を塗られた皮膚に照射すると、強い熱エネルギーが発生します）。

1回の照射でメラニン色素が完全になくなることは稀で、通常3か月程度のダウンタイムをおいて複数回照射します。また皮膚の深いところにメラニン色素がある場合や、隆起している病変には効きづらく、別の治療が推奨されています。

さらにいわゆる「肝斑」は照射によって逆に色調が濃くなったり、逆に色素脱失斑（白斑といいます）になったりする事があるため、トラネキサム酸（トランサミン®）とビタミンC（シナール®など）の内服治療を先行させることが推奨されています。

一般的な治療後の経過と対応

前述のように照射部は浅いやケドとなるため、黒い痂皮（かさぶた）が形成されます。痂皮は通常7～14日で脱落するため、無理に剥がさないで下さい。照射部に発赤が残っている間は、ステロイド塗布と絆創膏貼付を継続して下さい。

照射後14日程度で炎症後色素沈着（Post-Inflammatory-Hyperpigmentation：PIH）が起こるとされていますので、日中は紫外線対策（テープや絆創膏貼付、日焼け止めやファンデーション塗布など）を、夜間は保湿するようにして下さい。

紫外線対策と保湿は、照射後2～3か月は続けて下さい。



炎症後色素沈着
(Post-Inflammatory-Hyperpigmentation：PIH)

適応疾患

保険適応

太田母斑

○

異所性蒙古斑

○

外傷性色素沈着症

○

扁平母斑

○

老人性色素斑
(いわゆるシミ)

×

脂漏性角化症

×

雀卵斑

×

保険適用について

Qスイッチルビーレーザーの適応疾患は下記の通りですが、**保険適応の有るものと無いものがあります**。実際の「シミ・アザ」は複数の病変がオーバーラップしているもの、視診では見分けることが難しいもの、他の治療法が推奨されるものなど様々です。まずは診察させて頂き、その後各種治療法をご提案させて頂きます。

※ 日本では保険適応の有る治療と無い治療を同日、あるいは一連の期間に行う、いわゆる「混合診療」は認められておりません。

保険適応の無い治療において発生する費用（手技料、使用・投与した薬剤費など）は全て自費負担となります。何卒ご了承下さい。

料金については裏面へ

料金について

保険適応のないレーザー照射の自己負担額（諸経費を除く）は下記となります

初診料	再診料
¥2,200（税込）	¥1,100（税込）

病変の長さ（複数ある場合は合計）	手技料（税込）
1 mm以下	¥1,100
1 mm～2 mm	¥2,200～
2～3 mm	¥2,750～
3～4 mm	¥3,300～
4～5 mm	¥3,850～
5～6 mm	¥4,400～
6～7 mm	¥4,950～
7～8 mm	¥5,500～
8～9 mm	¥6,050～
9～10 mm	¥6,600～
直径 2 cm	¥11,000～

診療体制と注意点について

レーザー外来は形成外科とは別に毎月第2・4水曜 14:00～16:00 に実施しています。

	月	火	水	木	金	土
第2・4	—	—	14:00～16:00	—	—	—

※月によって異なる場合がございますので、受診前にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

【注意点】

- 照射範囲が広い場合など、最適な照射出力の選定と合併症回避のため部分的な照射（ためし照射）を提案させて頂くことがあります。何卒ご了承下さい。
- また当院は二次救急病院指定を受けており、急な外傷症例の搬入や病棟急変対応など、突発的に外来待ち時間が発生することがあります。何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。